

PM学会四国支部 10 月度研究会議事録

日 時： 10月16日(木) 14:00~16:10

場 所： 香川大学工学部キャンパス知的財産・社会連携センター3Fセミナー室

共 催： 香川大学知的財産・社会連携センター技術交流協力会プロジェクトマネジメント研究会

講演：「システム開発技術を通して、社会システムを考える

～非情報系の学生に、ソフトウェア開発技術を通じて伝えたいこと～

講師：筑波大学大学院ビジネス科学研究科 准教授 木野 泰伸氏

講演：「スケジュール遅延を防ぐためのリスクマネジメントの活用」

講師：山口大学大学院技術経営研究科 准教授 大島 直樹氏

出席者： 34名（別紙出席者リスト参照）

司会進行：板倉 宏昭（四国支部事務局）

内 容：

四国支部支部長小山先生の挨拶に続き、講師の木野先生による講演があった。（約55分）

「システム開発技術を通して、社会システムを考える

～非情報系の学生に、ソフトウェア開発技術を通じて伝えたいこと～

ソフトウェアの開発は、建築など他のプロジェクトに比べて、作成している成果物の中身や進捗が目に見えにくいという特性があります。この特性から発生する課題を解決するために、現在まで多くの仕組みや技術が考案されてきた。

これらの仕組みや技術は、コンピュータシステム（ソフトウェア）の開発だけでなく、経済システム、金融システム、法体系、政治システム、国家、企業や組織、家庭など、多くの社会システムに応用することが可能である。そのため、MBA など非情報系の学生、さらには、社会システムに関わる全ての人に、コンピュータシステム（ソフトウェア）の開発から生まれてきた考え方や技術のエッセンスを伝えることは大切であり、また学んだ人にとっても役立つものであると考えている。今回は、エッセンスとして何を、どのように伝えるかについて議論した。主な項目は下記のとおりである。

- ・筑波大学大学院ビジネス科学研究科マネジメント系のご紹介
- ・国際経営プロフェッショナル専攻の科目例
- ・仮想プロジェクトを設定してグループワーク
- ・自分自身の日常作業の計測
- ・人気科目は、会計、M&A などである
- ・PERT図は関心を持つ人が多い
- ・IT技術者の人が金融業界に転職するのが主であり、金融業界からIT業界への転職は、ほとんど聞いたことがない
- ・教官は工学系と経営系が半々であるが、学生は工学離れが多い
- ・工学だけでなく、IT分野の応募者が急速に激減している
- ・基礎数学の充実、実験（誤差や数値の信頼性）
- ・ロジカルシンキングやクリティカルシンキングで使われている手法は、システム開発方法論で教えていることに含まれる

- ・思考法を学ぶためには、ITの技術を学ぶのが一番良い
- ・ITにまつわる方法論は、思考法の玉手箱
- ・ORの流れを公共政策の分野へ応用する
- ・キーワードは、システム・・・システムをより良く設計するための、横断的なノウハウがあるはず
- ・思考法として役立つようなこと 構造化プログラミング（構造化設計）、
OS（オペレーティング・システム）、スプール管理、ジョブ管理、
ハードウェアから業務ソフトまでの階層、アルゴリズム、リスクの考え方
- ・コンピュータサイエンス、ソフトウェアエンジニアリング、プロジェクトマネジメントを背景として、経験に基づいたノウハウを使って、分野横断的に再整理が必要

続いて、質疑応答・ディスカッションでは1人の方から質問があった。（約5分）

10分の休憩の後、講師の大島先生による講演があった。（約45分）

「スケジュール遅延を防ぐためのリスクマネジメントの活用」

プロジェクトのスケジュール遅延を防ぐためには、スケジュール・マネジメントをきっちり行うことが不可欠である。スケジュール遅延を引き起こすリスクを識別し、プロジェクト・リスク・マネジメントとスケジュール管理を統合するためのツールとスキルとして、B-C-F分析について考察した。プロジェクトマネジメント・ツールボックス（ISBN-10: 4306011461）では、B-C-F分析は中規模以上のプロジェクトにおける進捗管理のためのツールとして紹介されている。プロジェクトスケジュールのベースライン（B）と現状（C）および将来（F）の予測を比較する分析手法である。将来スケジュールを予測するためには、リスク分析においてリスク要因がアクティビティ所要期間に与える影響を評価し、リスクマネジメント計画において識別されていることが重要である。スケジュール遅延の真の原因を深く理解し、プロジェクトスケジュールのプロアクティブなマネジメントの実現に結びつくものと期待できる。

続いて、質疑応答・ディスカッションでは3人の方から質問があった。（約15分）

事務局から、今後の研究会の予定等のご案内を行った。

講演の後、16時20分より、香川大学知的財産・社会連携センター3Fロビーにて懇親会を行った。

以上